

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	肘関節ポジショニング判定処理システムの開発
研究責任者	コニカミノルタ株式会社 ヘルスケア事業本部 開発企画部 米山 努
研究実施体制	コニカミノルタ株式会社と聖隷浜松病院の共同研究 【当院窓口】 聖隷浜松病院 放射線部 種石 吉記
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～2025年3月31日
対象者	臨床研究審査委員会承認日から2024年4月30日までの間に当院にて肘関節側面撮影を行った、肘関節疾患患者(疑いも含む)。
研究の意義・目的	単純X線画像において、肘関節側面撮影に対するポジショニングのズレの程度とその位置情報を提示出来る再撮影判定支援機能(機能名: Software-RS)の開発が予定されている。現在までに膝関節側面撮影、足関節側面撮影に対しての当機能のリリースの目処が立っている。当院の肘関節側面画像を教師データとして利用し、また再撮影判定基準の指標をデータ化することで製品化が実現されれば、再撮率の低減が見込まれ被ばく低減だけでなく、検査遅延による待ち時間短縮にもつながり患者サービスも向上する。
研究の方法	① 画像提供: 当院のX線撮影装置に保存されている肘関節画像を1000症例抽出する。抽出する画像は個人情報付加前のいわゆるRawデータである(匿名化された状態)。抽出されたRawデータを、共同研究機関であるコニカミノルタ社と共有し、コニカミノルタ社にて再撮影判定支援機能の開発を行う。 ② 再撮影判定基準指標の提供: 300画像を用いて当院にて再撮影判定基準指標を作成し、コニカミノルタ社に提供する。 ③ 抽出された画像を学習用と評価用に分割し、学習用画像を用いて学習したAIを用いて評価用画像を生成し、当院にて作成した再撮影判定基準指標と照合することで評価を行う。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 放射線部 種石 吉記 TEL: 053-474-2222(代表) 放射線部 9:00~17:00 平日